



【編集・発行】侍浜町振興協議会 侍浜市民センター (☎0194-58-2110)

【裏面記事】

- ・着任の挨拶
- ・町内官公署等転入職員紹介
- ・侍浜料理教室「地域の郷土料理づくり体験」を実施
- ・積水バイオリファイナリー(株)の実証事業が終了
- ・侍浜町の人口と世帯数
- ・お知らせ
- ・令和七年度岩手県消防定例表彰

令和八年度 侍浜町振興協議会 定期総会開催

令和八年四月十二日(日) 午前十時から令和八年度侍浜町振興協議会定期総会が侍浜市民センターで行われました。

久慈清悦振興協議会会長から、「昨年度は皆様のご協力により八月十日に第十七回侍浜夏まつり懸賞盆踊り大会を六年ぶりに開催できました。多くの町民に集まっていたいただき、踊りの輪が広がりました。今後市民センターとともに、な

にやどやらの太鼓と歌を伝承し、夏祭りを継続してまいると思います。また、懸賞盆踊りに協賛をいただきました皆様にご心より感謝申し上げます。

十一月九日には、第二回侍浜秋まつりを開催いたしました。多くの皆様が来場し、展示部門や出店部門を楽しんでいただきました。侍浜の町民がいろいろな場面で主役となつて開催することができました。

一方、少子高齢化や中学校の統合という大きな変化に直面しています。こうした時だからこそ、町民の皆様のご意見を反映した希望ある地域づくりを共に模索していきたいと考えております。」と挨拶がありました。

また、侍浜市民センター小向センター長から、「二年目を迎え、改めて地域の皆様の熱意に支えられていると実感しています。私も侍浜中の卒業生として、統合には複雑な思いもありました。しかし、久慈中学校の入学式に参列し、ポケットティッシュ)の配布により、啓発活動を行いました。

春の全国交通安全運動 街頭啓発活動を実施

四月九日(木)朝七時から、「おまじない 自分を守る みぎひだり」をスローガンに、侍浜町振興協



議会交通部(交通安全協会侍浜分会)をはじめ、地域交通安全活動推進委員、侍浜町交通安全母の会、行政連絡区長、侍浜保育園、侍浜小、PTA、侍浜駐在所、久慈市交通指導員、侍浜市民センターなど約二十五名が、侍浜町本町交差点(南久慈商店侍浜方ソリンスタンド前交差点)付近で交通安全街頭啓発活動を行いました。

今回も、信号等で一時停止する車へ声がけするとともに啓発グッズ(チラシ、

更なる高みを目指し、今年度の練習スタート 侍浜柔道教室



て活動できるよう安全に配慮し、柔道の素晴らしさを

今年度も「侍浜柔道教室」がスタート。四月二日に開講式を行いました。練習は柔道の基本である礼法から始まり、明るく楽しい雰囲気の中実施しています。

各種大会等も例年同様に予定されています。子供たちにはより良い成績を残せるよう、頑張つて練習に励んでほしいと思います。

また、一緒に汗を流す仲間を募集中です。興味のある方は見学からでもお受けします。初心者でも安心し

祝 ご入園・ご入学おめでとうございます



侍浜保育園入園式



侍浜小学校入学式

鍵かけモデル地区 今年度は侍浜町 全域で

四月六日(月)、侍浜市民センターにおいて、鍵かけモデル地区の指定書交付

式が行われました。昨年度は侍浜町の四町内会が対象でしたが、今年度は侍浜町内会連合会が対象となり、侍浜町全域がモデル地区に指定されました。

着任のあいさつ

侍浜小学校
校長 小原 幸尋



このたび、岩手県立生涯学習推進センターより侍浜小学校に赴任しました小原幸尋(おぼらゆきひろ)と申します。

今年度は、新入生七名を迎え、全校児童六十八名でスタートしました。始業式や入学式でまず印象に残ったことは、何事にも一生懸命に取り組む子どもたちの誠実な姿です。式

着任の挨拶

久慈拓陽支援学校
校長 菅原 裕子



この四月に着任いたしました菅原裕子と申します。前沢明峰支援学校から参りましたが、日々自然の美しさや人の温かさに触れる中で、久慈地域の一員となれましたことを、大変うれしく思っております。

本校は、長年にわたり久慈地域、特に侍浜地区の皆様からあたたかいご理解とご協力をいただきながら、

に臨む姿勢、準備や後片付けに至るまで本当に立派な態度でした。進級し、新たな気持ちで新学期を迎えたこともあると思いますが、活動のねらいを理解し、どのように行動したらよいかを担任の先生と一緒に考えながら取り組んでいることが、この素晴らしい姿につながっていると感じます。

変化の激しい現代社会において、自ら考え判断し、主体的に物事に取り組む力はとても重要です。学校では、子どもたち一人ひとりをしっかりと見守り、応援してまいります。ご家庭や地域の皆様におかれましては、子どもたちの考えや主体性を大切にしながら、温かく見守っていただければ幸いです。

また、子どもたちの健全な成長のためには、学校と家庭、地域が力を合わせて子どもたちを育んでいくことが大切であると考えています。侍浜の子どもたちにはどんな姿に育ってほしいでしょうか。子どもたちが暮らす侍浜をどんな地域にしていきたいでしょうか。皆様とともに考えながら、「地域とともにある学校づくり」に努めてまいります。



取り組んでいます。

教育活動を行ってまいりました。保育園や小学校との交流行事は毎年続けており、また高等部生徒の清掃活動や花壇の整備などについても、活動の場をご提供いただいております。いつも本当にありがとうございます。

さて、本校は今年度、小学部十六名、中学部二十三名、高等部二十五名、合わせて六十四名の児童生徒でスタートしました。併設している寄宿舎には二十四名の児童生徒が生活しております。本校では、校訓「明るく、強く、生き生きと」を大切にしながら、一人一人の障がいや個性に応じた学びを通して、それぞれが自分の力を伸ばし、心も体も健やかに成長できるように

町内官公署等 転入職員紹介

令和8年度の定期人事異動により、侍浜町内の官公署等に新たに転入された方々を紹介いたします。

官公署等	職名	氏名	前任
侍浜小学校	校長	小原 幸尋	岩手県立生涯学習推進センター
	副校長	村井 利家	一関市立萩荘小学校
	教諭	小野 芽依	滝沢市立滝沢中央小学校
	用務員	舩 森 恵美	久慈市立侍浜中学校
久慈拓陽支援学校	校長	菅原 裕子	岩手県立前沢明峰支援学校
	副校長	西 舘 智香子	岩手県立盛岡第三高等学校
	事務長	佐々木 勝 幸	岩手県立宮古商工高等学校
	教諭	西 勝 美	岩手県立宮古恵風支援学校
	教諭	佐藤 靖 子	岩手県立盛岡青松支援学校
	教諭	鳴海 花 音	岩手県立盛岡聴覚支援学校
	教諭	五 島 佑希菜	新採用
	教諭	木 下 実 幸	新採用
	寄宿舎指導員	田野 端 美 行	岩手県立気仙光陵支援学校
	寄宿舎指導員	吉 田 穂乃香	岩手県立花巻清風支援学校
	主任主査	原 恵美子	岩手県立種市高等学校
	主 事	麻 生 真 央	新採用
	運転技師兼介助員	廣 崎 翔	岩手県立軽米高等学校
	当直専門員	米 内 穂ノ歌	新採用

侍浜料理教室 「地域の郷土料理 づくり体験」を実施

三月二十六日(木)に侍浜市民センターにおいて、侍浜料理教室を行い、小学生やその保護者など十六人が「へつちよこだんこ」づくりに挑戦しました。



へつちよこだんこは、岩手県北部で伝統的に作られる郷土料理で、収穫後の庭仕舞いや神様へのお供え物として食され、雑穀粉を使い、甘い小豆汁で煮るのが特徴です。

参加者は、浜っ子なかよしクラブスタッフのサポートのもと、団子の丸め方や茹で方に四苦八苦しながら

域文化に対する関心の向上と世代間の交流を図ることができました。

積水バイオリファイナリー(株)の実証事業が終了

令和八年三月二十七日、侍浜市民センターにおいて、積水バイオリファイナリー株式会社による実証事業が終了することに関する説明会が開催されました。

説明会には、侍浜町内外から約二十人が参加。このほか、積水バイオリファイナリーや久慈市から担当者が出席しました。

積水バイオリファイナリーからは、可燃ごみからエタノールを生産する実証

侍浜町の人口と世帯数

(令和8年3月末現在)

○人口	2,023人	(-36)
男	954人	(-17)
女	1,069人	(-19)
○世帯	988世帯	(-3)
	※ () 内は前年比	

お知らせ

- 五月(皐月)
 - 一日・二日 侍浜小学校家庭訪問(希望者)全教室
 - 二日 侍浜小学校交通安全教室
 - 三日 憲法記念日
 - 四日 みどりの日
 - 五日 こどもの日
 - 六日 振替休日
 - 十一日 侍浜小学校PTA奉仕作業
 - 十五日 侍浜市民センター開放の日
 - 二十一日 久慈拓陽支援学校運動会総練習
 - 二十三日 侍浜小学校大運動会
 - 二十三日 久慈拓陽支援学校運動会
 - 三十一日 侍浜小学校全校引き渡し訓練
- 三月二十日(金)、岩手県消防定例表彰祝賀会が開催。地域の消防、防災活動への多大なる貢献が認められ、侍浜町から多くの方が受賞されました。
 - 岩手県知事表彰(功績章) 大西 広吉
 - 日本消防協会(勤続章) 亀田 豊秋
 - 大西 広吉
 - 本波 秀和
 - 坂上 勝則